

集団災害対応訓練を実施しました

乙訓消防組合では大規模な事故や救急事案に対応するため、2年に一度、全消防隊、救急隊が参加する連携訓練を行っています。

集団災害とは、通常の消防力では対応できないような大規模な災害のことをいいます。今回の想定は車の玉突き事故により多数の傷病者が発生している想定で訓練を実施します。



最先着の救助隊が傷病者の確認を行っているところです。

併せて車両の固定化や燃料漏れがないかなど素早く確認し、災害の概要を把握します。

傷病者を車外に救出している
様子です。

簡易的に傷病者を観察し、緊
急度の高い人から救出していま
す。



救出した傷病者は、トリアージ
ポストで詳細な観察を行い、応急
救護所に搬送します。

トリアージとは傷病者を緊急度
に応じて分けることで、最大多数
の傷病者の救命を目的として行わ
れます。



応急救護所の様子です。

赤色・黄色・緑色のトリアージシートが広げられ、赤色のシートが一番重症度が高いことが一目で分かるようになっています。



現場指揮所では災害の状況、病院の受け入れ状況など、全ての情報が集約され、整理されています。

これからも様々な訓練に継続して取り組んでいきたいと思っています。